

2017年10月28日(改2)

2014年7月15日(改1)

2013年11月26日(改訂)

2013年10月1日(原案)

## ホツマツタエ史学研究会 講座 (案)

ホツマツタエ史学研究会 吉田六雄

### 主旨

ホツマツタエを楽しく読んで戴くために、新たに「ホツマツタエ史学研究会 講座」を開設することにしました。そして、この「ホツマツタエ史学研究会 講座」の読者から 次の「ホツマツタエ」初学者へとステップアップの手引きになれば幸甚と思います。そのために ホツマツタエの研究プロセスを明らかにしました。

### ホツマツタエ史学研究会 講座プロセス

本講座は、研究のプロセスを明らかにすることにより 他の研究者との協調研究をより促進するものです。そのプロセスは、次の順序にて解説して行きたいと思います。

(1)ホツマツタエのヲシテ(神代文字)文章を 十分に読み下します。

(2)(1)項の文章を 辞書などと照らして 現在文に、変換して見ます。

(3)意味の不明なヲシテ文については 辞書(インターネット辞書:大辞泉)の意味を記録し残します。

(4)意味の不明なヲシテ文が 辞書に未掲載の場合は 後日の研究のため、控えて置きます。

その後において ヲシテ文の意味が解釈された場合は 記録し 後日の検証の資料として残します。

(5)ホツマツタエ全40アヤ(文)を通じた意味を考えます。

その場合 同じヲシテ文については 他のアヤ(文)の文章と対比して 考えて見ます。

(6)研究に結果に一定の目処が着くようだと「研究資料(ワード文など)」に研究結果をまとめ 記録を残します。

(7)(1)~(6)項を繰り返して行くことで、ホツマツタエの理解が深まると思います。

(8)上のようなプロセスにより ホツマツタエを研究したものについては 順次ホツマツタエ史学研究会 講座のHPに掲載して行きたいと思います。

### (注記)

研究方法を統一することにより、新人、第三者のホツマツタエ研究への参加をし易くしました。

### ホツマツタエの研究資料をまとめる場合の定型フォーム

研究結果のまとめ、報告にあたっては、将来の学術上の討議を想定し、ホツマツタエの「アヤ(文)」毎に、「①ヲシテ文」「②現在文」「③辞書訳」「④解釈訳」「⑤私註」とする。また、これ以外にも、引用文献、添付書類があれば、準備が必要です。

以上